

経済

熊本の“食”の魅力を発信

香港へ一拡大する県産農産物輸出

サツマイモは前年比18倍、イチゴも4割強の増加



おやつ用途が高く出荷するのは小ぶりな規格外のサイズ。国内でのニーズはほとんどないため生産者にとっては新しい販路に

▲香港への出荷を待つ山積みされたサツマイモの箱詰め(1箱5キロ)。大津町と西原村で生産する「ほりだし君」や「紅はるか」などの品種が出荷される

▲出荷作業の拠点となるJA菊池パッケージセンター(大津町)



「熊本のかんしよ」の商品で量販店などの店頭で並ぶサツマイモ。小売価格は1袋日本円で2500、2600円。袋詰め(500グラム)は現地のニーズに合わせたものだ



11月が出荷のピークとなるサツマイモ。大津町のパッケージセンターでは出荷作業に追われている



▲日系の百貨店や量販店で販売される「ひのしずく」。写真は昨年1月、香港の量販店であった春節に向けたイベントでの1コマ。(写真・JAたまな)

香港市場に向けた県内農産物の輸出が伸びている。10年度から輸出を本格化したサツマイモは09年度の2.9トンに対し10年度が52トンで前年比18倍の大幅増に。04年度に1トンからスタートしたイチゴは10年度が24トン、11年度は35トンを見込むまでに増えており、今後の輸出拡大が期待されそう。サツマイモは、JA菊池とJA阿蘇が共同で9月から来年4〜5月頃まで週1回、香港向けに出荷。今年11月9日現在で出荷量が計画の2倍以上となる4369ケースに達し、「昨年実績を上回りそう」とJA菊池販売企画課。香港では「ふかしイモ」などおやつとしての人気が高いという。

JAたまなが出荷するイチゴの「ひのしずく」は高級果実として国内価格より高め1250円〜1500円で販売される。昨年10月には「露之水滴」として香港の商標登録を取得しJAたまな指導販売部では「今年は昨年より1日増の週3日の出荷態勢でクリスマスや1月の春節、バレンタイン商戦などに売り込みをかける」方針だ。JA熊本経済連では「現地ニーズの取り込みやこれまでのプロモーション活動の成果が出始めている。今後は安定的に輸出できる品目を増やしていきたい」(マーケティング戦略課)と話している。

FACE 鳥越和香子さん(59) フタバ社長 (熊本市島崎2丁目) 業界団体からふりかけの元祖と認定された「御飯の友」などを製造販売しています。大正初期に日本人のカルシウム不足を補うため薬剤師によって開発された同商品ですが、今は飽食の時代。時の流れに沿った商品開発で、後世に続くような新しい柱も作ってきたいですね。

FACE 宇藤純一さん(55) 熊本血管外科クリニック院長 (熊本市上通町) 開院から1年8ヶ月程で当院の下肢静脈瘤治療の認知度は着実に高まっています。苦痛も少なく、早期の社会復帰や治療費削減などのメリットから、県内各地からの患者が来院されます。皆さんが笑顔で帰られるのが最高の幸せです。

FACE 松中敏治さん(63) 松中土建会長 (八代市松崎町) 地中に埋設したパイプから夏は涼しく、冬は暖かい空気を室内に送り込み、建物全体の温度をゆるやかに調整して冷暖房の負荷を軽減するという地中熱利用換気システムを導入。取り扱いには県内3社目で、管轄の県南地域で普及させていきます。

FACE 東矢憲一郎さん(55) トーヤハウス社長 (熊本市桜木2丁目) 性能や価格など顧客のニーズを取り入れた住宅を提案。商品開発、サービスなどいかにして他社と差別化を図るかが大切だと思います。全社員の知識向上とともにウェブコンテンツの充実などを図り、お客さまへのプラスアルファの提案を目指します。

FACE 田中映里子さん(43) 就労支援ほがらか理事長 (熊本市水前寺1丁目) 7月にNPO法人を設立。障害者を対象に姿勢や表情などビジネスマナーレッスンをしています。当事者主体でお互いに助けあうことで自立していく「ピア・サポート」の精神で生徒さんだけでなく、私自身も成長していきたいですね。

FACE 田邊裕正さん(58) くまもと温暖化対策センター副理事長 (熊本市桜町) 温暖化防止活動に取り組む県民に対し、ポイント制度により協賛店が特典・サービスを提供する「エコまポイント制度モデル事業」が動き出し、現在300店を目標に協賛店を募っているところ。県民総ぐるみで温暖化防止活動を進めるため、次年度からの本格運用を目指しています。

くまもとグルメキャラバン 12月2日に帰熊した「くまもとグルメキャラバン」の出演ブース。くまもんをあしらったラッピングカーでPRするグルメキャラバン。イベント会場にはくまもんも同行し、くまもとの食をPRしている。

関西圏でくまもとの食の魅力を発信

くまもとの食の魅力を発信しようとしてくまもとグルメキャラバンが大阪で開催されるさまざまイベントに登場し、くまもとグルメをPRしている。グルメキャラバンは今年9月にスタート。熊本県のPRキャラクター「くまもん」をあしらったラッピングカーでアイキャッチを図りながら、関西圏内で開かれる市民まつりなどの地域イベント、スポーツイベントの試合会場で、くまもとグルメとくまもんグッズを出品。ときにはくまもんも同行し、販売を通じてくまもとの食のPRを行っている。県くまもとブランド推進課の受託事業としてグルメキャラバンを運営する(株)夢s(大阪府中央区)では「大阪の人たちに受け入れやすいPRでくまもとの食の魅力を発信したい」と話している。